

インマヌエル中目黒キリスト教会
2010年10月17日
聖日礼拝

「希望のある悲しみ」

1テサロニケ4章13-18節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

1テサロニケ4章13-18節

13 眠った人々のことについては、
兄弟たち、
あなたがたに
知らないでいてもらいたく
ありません。
あなたがたが
他の望みのない人々のように
悲しみに沈むことの
ないためです。

14 私たちは

イエスが死んで復活されたことを信じています。

それならば、

神はまたそのように、

イエスにあって眠った人々を

イエスといっしょに

連れて来られるはずですよ。

15 私たちは

主のみことばのとおりに
言いますが、
主が再び来られるときまで
生き残っている私たちが、
死んでいる人々に
優先するようなことは
決してありません。

16 主は、

号令と、御使いのかしらの声と、
神のラツパの響きのうちに、
ご自身天から下って来られます。
それからキリストにある死者が、
まず初めによみがえり、

17 次に、生き残っている私たちが、
たちまち彼らといっしょに
雲の中に一拳に引き上げられ、
空中で主と会うのです。
このようにして、私たちは、
いつまでも
主とともにいることになります。

18 こういうわけですから、
このことばをもって
互いに慰め合いなさい。

説教

第一テサロニケ連講⑬

「希望のある悲しみ」

1 テサロニケ人への手紙 4章13節-18節

竿代 照夫牧師

主テキスト：

「眠った人々のことについては、
兄弟たち、
あなたがたに
知らないでいてもらいたく
ありません。
あなたがたが
他の望みのない人々のように
悲しみに沈むことの
ないためです。」

1. テサロニケ信徒の問題 (13節a)

- ・ 再臨待望の切迫感と
即刻性の混同
- ・ 信徒たちの召天

2. 悲しむのは当然、だが・・・ (13節b)

- 悲しむな、ではない
- 「他の」人々のようではなく
- 絶望的悲しみではない

3. 悲しみを乗り越える希望 (14節)

- 「眠り」という表現の示すもの
- 希望の根拠①
——キリストの復活
(14節a、ローマ6：5)
- 希望の根拠②
——再臨待望 (14節b)

おわりに：

再臨に対する
確かな希望をもって生きよう